

このコーナーでは、「私の好きな白河の景観50選」にご応募いただいたもののなかから、毎月1か所を皆さんにご紹介しています。



清水寺の境内に入る前の橋から見る 美しい小川の水と紅葉

福島県重要文化財に指定されている金銅装の笈が納められている金光山清水寺の境内付近は、なぜか心が静まり、京都を思わせるような雰囲気をかもし出しています。

特に夏と秋のシーズンは素晴らしく、夏は水の清らかさと自然のたたずまいが、秋は山から流れてくるきれいな水と紅葉がとてもきれいです。

ふるさとの 風景を描こう

～いつだって心に残る風景がある～



募集しています「私の好きな白河の景観50選」

「私の好きな白河の景観50選」は、本市の魅力ある景観づくりを進めるために、皆さんの身近にある景観の情報をお寄せいただくものです。応募用紙は、市ホームページからもダウンロードできます。

こんなところから景観まちづくりを進めています

本市では、歴史ある白河の景観に配慮し、看板などの公共サインを設置する際には、基調色・ブラウン（こげ茶色・マンセル値10YR3/1及びその近似色）を使用して、景観に調和したまちづくりを進めています。

本庁舎都市計画課 ☎01111 内2288

私のイチ押し



わら細工
あしな
『足半づくり』

私の足半作りは農業を始めた15歳の頃で、農業するときには、これを履いていたので必需品でした。足半は草履と比べてかかとの部分の無い短いものです。材料はわらで出来ており、雨の日などはすぐに壊れてしまいましたので、私の父は家族の分を含めて年間百足ほど作りました。長所は他の草履に比べ簡単に出来、泥が跳ね上がることはありません。

私は近所のわら細工が得意な長老がいましたので、そこへ習いに行って覚えたものです。足半の一番難しいところは、鼻緒の部分の結び方で昔作っていた人たちがこの結び方は忘れてしまった人が多いようです。

現在は、高齢者学級でわら細工の講師をしたり、実際使われたものより小さく作って鑑賞用として知人へプレゼントして喜ばれています。

今後、若い人たちにも教えて、末永く受け継がれるようにしたいと思います。



穂積 乾児さん
(表郷番沢)

イチ押し作品を募集

このコーナーでは、皆さんの自慢の作品を募集しています。本庁舎秘書広報課までご連絡ください。